

がん治療を受けながら、働き方や職場復帰について考えるときにご覧いただければと思います、

「がんと仕事のQ&A」

編集・発行 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター
の内容を抜粋し、紹介します。



自分は出来るだけ早く元の職場に復帰したいと考えていますが、家族は「療養に専念したほうがいい」と強く言います。私にとって仕事は生きがいであり、やめたくないで口論になってしまいます。治療と就労が両立できるように、家族には自分を支えて欲しいのですが・・・。

ご家族としては、職場復帰によってあなたの体調や病気に悪影響が出るのが、何より心配なのです。「職場復帰したい」「やめてほしい」というお互いの主張をぶつけあうだけでなく、なぜそう思うのかを少し冷静に話し合っただけではいかがでしょうか。あなたの人生にとって仕事がどういう意味を持つのか、ご家族はどういうところが心配なのか、時間をかけて話し合ううちに、誤解がとけたり相手の立場や考えへの理解が深まったりするかもしれません。話し合いが感情的にならないように、誰か信頼できる第三者（親戚や友人など）に同席してもらうのもよいでしょう。

もちろん、職場復帰が体調面から現実的なのかどうか、主治医や職場関係者と十分に話し合うことが必要なのは言うまでもありません。また、家族の反対を押し切って職場復帰したのだから、と無理をすることも禁物です。

ご家族との関係について、患者会などで他の方の体験談やご家族の意見を聞くことも参考になります。



がんサロンのお知らせ

日時: 1月4日 1月15日 2月1日 2月19日 15時～16時

場所: センター棟4階 健康管理センター待合ホール